

# 生活科学習指導案

指導者 仁井 育美

1 日 時 令和5年10月20日(金) 第5校時

2 学 年 第1学年2組 34名

3 単元名 たのしいあきいっぱい ～たのしいあきの〇〇〇をつくろう～

## 4 単元目標

### 探究のサイクル1

○秋の自然の様子や特徴、四季の変化や違いについて知り、楽しく遊ぶ方法を考えよう。

### 探究のサイクル2

○友達の考えを聞いたり、自分の考えを深めたりして、もっと楽しく遊べる〇〇〇をつくろう。

### 探究のサイクル3

○みんなで遊べる「たのしいあきの〇〇〇ランド」を開こう。

## 5 単元について

### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領生活の内容(5)「季節の変化と生活」や(6)「身近な自然や物を使った遊び」、(8)「生活や出来事の交流」を受け設定したものである。1学期の単元「きれいにさいてね」や「なつがやってきた」を通して、児童は四季の変化に興味を持ち、様々な自然の変化を発見してきた。本単元では、校庭や公園で四季の変化を体全体で感じながら遊び、自然物を使った制作物を自分の手でつくりたいという思いを持ち、集めた自然物で工夫してつくることを通して、自然物を使ってつくる楽しさや自然の不思議さ、面白さに気付いたり、安全に気を付けてみんなで楽しく遊んだりすることをねらいとしている。また、学習活動を通して、積極的に友だちと教え合ったり、話し合ったりして、試行錯誤する過程の中で、自然を大切にしたり生かしたりして、友達や自分の生活を楽しくしようとする態度を育てることもねらいの一つである。

### (2) 児童観

本学級の児童は、1学期に「きれいにさいてね」の学習でアサガオやヒマワリを育ててきた。大きく、きれいな花を咲かせるためには、毎日水やりを忘れずに行ったり、声をかけたりして、心を込めて世話をすることが大切だということに気付くことができ、成長を楽しみにしながら育てることができた。また、アサガオやヒマワリの成長を観察し、観察カードにまとめる活動を通して、成長の様子や、友だちとの違いに気付くことができた。そして、「なつだ あそぼう」では、夏の遊びについて考え、自然と遊ぶ楽しさを実感したり面白さを発見したりすることができた。これらの活動を通して自然の変化や遊ぶ楽しさに触れ、気付いたことを観察カードなどに自分の言葉で記録し、自然を愛する心情を育てることができた。しかし、発見した「気付き」や「楽しさ」を友達と共有し、お互いの考えを比べたり関連付けたりして、自然とのよりよい関わり方について考えを広めたり、深めたりすることを苦手と感じている児童が多く、「自分の考えを友達に伝えることは大切である。」と答えた児童は90%に対して、「進んで友達によいと思う考えを伝えている。」と答えた児童は52%であった。自然と関わり、試行錯誤する過程の中で、児童が話合いや交流をしながら、うまく伝えられた喜びや、人と自然に関わる楽しさを学ばせたい。

### (3) 指導について

本中学校区で育成したい資質能力は、次の3点である。これらを育むために、本単元では、次のような手立てを行う。

資質・能力	手立て
主体性	・四季の変化や自然の中での遊びを通して、身近な自然のよさに気付き、みんなと楽しみながら制作物を作って自分たちの生活を楽しくしようとする場を設定する。 ・観察カードや作りかたカードに気付きや改良点を記録していき、「楽しい秋の〇〇〇ブック」にまとめることで集めた情報の視覚化を図り、意欲を高める。

コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ制作物をつくる児童でグループをつくり、お互いに改良点を話し合ったり、違う制作物をつくるグループと改良点を交流したりして学習の深化を図る。</li> <li>・自分たちの制作物を発表する場を設定し、自然物の特徴を生かして作成した楽しさや、工夫して改良したことによる面白さを伝えさせる。</li> </ul>
メタ認知	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画、交流と実践、振り返りを一つのサイクルとして、より楽しい制作物をつくることで達成感を感じ、自己の成長に気付かせる。</li> <li>・本単元と国語科「じどう車ずかんをつくろう」、「ともだちのこと、しらせよう」を関連付けて、児童が自信を持って主体的に自分の考えを伝えることができ、クラスの一員であることを実感させる。</li> </ul>

## 6 評価規準及びルーブリック

### (1) 評価規準

評価の観点		
①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
<p>ア 色や形、においなど、秋と夏の自然の様子の変化や不思議さ、季節によって楽しめる遊びや生活の様子が変わること気付いている。</p> <p>イ 多様な木の実や葉の形、色などを生かして作る楽しさや、遊びを工夫したり創り出したりする面白さに気付いている。</p> <p>ウ 伝えたいことを分かりやすく伝え、相手に伝わるよさや楽しさが分かっている。</p> <p>エ 自然物で遊びを創り出したことで、自分やみんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。</p> <p>オ 自分たちが秋を楽しむことができたことや、友達を楽しませることができたことが分かり、友達や自分自身の成長に気付いている。</p> <p>カ 遊びの約束やルールを工夫すると楽しく遊べることに気付いている。</p>	<p>ア 木の実や葉を形や色などで分けたり、比べたりして、どんな遊びになるかを想像しながら自然物を選んでいく。</p> <p>イ 制作物の動きを試したり、友達の制作物と見比べたりしながら、繰り返し遊んでいる。</p> <p>ウ 自分が創り出した制作物がもっと楽しくなるように、つくりにかたカードや実物を使い、改良するための考えを友達と伝え合っている。</p> <p>エ 公園での遊びや、制作物を工夫して作ったり、友達と楽しく遊んだりしたことを振り返り、伝えようとしている。</p>	<p>ア 秋の自然と関わりたいという思いを持ち、どんな遊びができるかを考え、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。</p> <p>イ 友達のよさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、粘り強く、もっと楽しい遊びを創り出そうとしている。</p> <p>ウ 制作物の楽しさを伝えたいという思いをもち、すすんで交流しようとしている。</p> <p>エ 自分たちの生活が、身近な自然や季節の変化に関わっていることや、自然と遊ぶ楽しさを実感し、生活を豊かに楽しくしようとしている。</p>

### (2) 探究のサイクル2におけるルーブリック

資質能力		B 目標を概ね達成した状態	A 目標を大きく達成した状態
知識・技能	メタ認知	エ 伝えたいことを分かりやすく伝え、相手に伝わるよさが分かっている。	伝えることを分かりやすく伝え、相手に伝わるよさや楽しさが分かっている。
思考・判断・表現	コミュニケーション力	ウ 自分が創り出した制作物がもっと楽しくなるように、つくりにかたカードや実物を使い、改良するための考えを友達に伝えている。	自分が創り出した制作物がもっと楽しくなるように、つくりにかたカードや実物を使い、改良するための考えを友達と伝え合っている。

主体的に学習に取り組む態度	主体性	イ	友達のをさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、遊びを創り出そうとしている。	友達のをさを取り入れたり自分との違いを生かしたりして、粘り強く、もっと楽しい遊びを創り出そうとしている。
---------------	-----	---	---	--

## 7 指導と評価の計画（全21時間）

\*別紙1：「単元構想図」参照

## 8 本時の展開

本時の目標 制作物をより楽しいものにするにはどうしたらよいか考え、友達と自分の制作物を比べたり、考えや工夫を伝え合ったりすることができる。				
学習活動	指導上の留意事項			評価規準(評価方法)
1 前時での制作物づくりを振り返り、本時のめあてを確認する。	○前時につくった制作物や「たのしいあきの○○ブック」やJamboardを見て、制作の過程や材料の特徴を振り返り、困っていることや改良したいことを伝える。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">めあて</div> もっとたのしくなるくふうをはなしあって、パワーアップさせよう。				
2 制作物を動かしたり、作り方を説明したりしながら、工夫を考え、交流する。	○交流しやすいように話し合う人数を4人にし、2人ずつ席を移動しながら交流する。 ○つくりかたカードに、考えた工夫を付箋に書いて貼り、お互いの意見が視覚的に分かるようにする。			【②ーエ】 (ワークシート、発言分析)
3 交流した考えをグループで共有し、改良する。	○同じ制作物をつくる児童でグループをつくり、意見を全員で共有できるようにする。 ○いろいろな改良ができるように、材料を揃えておく。 ○安全に留意し、正しい道具の使い方を指導する。			
4 本時の学習を振り返る。	○どんな工夫をしたら、制作物がより良くなったのかを振り返らせる。 ○友達と一緒にやると、一人ではできなかったこともできたことに気付かせる。 ○前回よりも制作物が良くなったことに触れ、達成感や満足感を持たせる。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ホップ:できるようになったこと。なるほどと思ったこと。</div>				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ふりかえり</div> 友達の考えを聞いて、やってみるとうまくなりました。 自分の考えだけでなく、友達の考えを聞くことはうまいく方法だとわかりました。 自分の意見を友達に分かりやすく伝えることができ、役に立ってうれしいです。 思い通りにパワーアップできたので、みんなで遊びたいです。				
5 次時の見通しを持つ。	○次時は、パワーアップした制作物の楽しさや面白さをみんなに伝える方法について話し合うことを伝える。			

9 板書計画

